# 授業科目　評価実習 II

| 【担当教員名】 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 作業 |
|---|---|---|---|---|
| 能村　友紀、作業療法学科全教員 | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 必修 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 90 |

【ディプロマポリシーとの関連性】

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|---|---|---|---|---|
| ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

【概要・一般目標：GIO】
臨床場面において，職業人としての適切な態度や行動のもとに，対象者の作業療法評価を実施することができる.
対象者の全体像を把握し，それを記録し報告することができる.

【学習目標・行動目標：SBO】
1．職業人として，常識的な態度や行動をとることができる.
2．対象者や臨床実習指導者と良好な人間関係を築くことができる.
3．作業療法の評価計画を立案することができる.
4．作業療法評価を実施することができる.
5．評価結果から対象者の課題をまとめることができる.
6．評価結果を記録し，報告することができる.

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO番号 | 学習方法・学習課題<br>備考・担当教員 |
|---|---|---|---|
| | ＜オリエンテーション（９月）＞ | | |
| | ＜臨床実習（10 月中の連続する２週間）＞<br>精神，発達，高齢障害よりいずれか一領域<br>＊指導は臨床実習先の臨床実習指導者が行う | 1～6 | 実習 |
| | ＜実習セミナー＞<br>評価実習 I ・II 終了後に I と II を併せて実施する | 1～6 | グループワーク，発表 |

| 【使用図書】 | ＜書名＞ | ＜著者名＞ | ＜発行所＞ | ＜発行年・価格 他＞ |
|---|---|---|---|---|
| 教科書<br>（必ず購入する書籍） | 標準 OT 作業療法臨床実習とケーススタディ第２版 | 市川和子 | 医学書院 | 2011・4,410 円 |
| 参考書 | | | | |
| その他の資料 | 実習パンフレットを配布 | | | |

【評価方法】
知識や技術，態度，実習期間中の成長度，出席状況，提出物
臨床実習指導者の評価・・・・60%
実習セミナーでの評価・・・・40%

【履修上の留意点】
実習ウェア・実習靴着用，茶髪・ピアス・無精髭厳禁，提出物提出期限厳守
当科目を履修するためには，作業療法学科３年前期までに開講されているすべての必修科目（単位）を修得している必要がある.